



# 北茨城シネマクラブ発会

2月28日、北茨城シネマクラブ設立総会が開かれ、会則や役員選出、事業計画・収支予算などが決められました。急きょアニメ映画の試写があって、その弾力的な運営に好感の声も聞かれました。

会員は700名(世帯)で、役員は19名、運営は会費でまかない、自主運営となります。年6回の上映を予定し、上映作品は会員アンケートによって決められます。また夏休みなどには、市の支援を受けて子どもたち向けの映画も予定しています。

第1回は、4月26日(日曜)で『歓喜の歌』の上映が決まっています。落語家・立川志の輔さんの落語が原作で、テレビドラマにもなっ



大門参院議員(中央)と、鈴木、福田両市議

日本共産党  
市議団

# 市政報告会開催

市民ふれあいセンター、170人が参加

3月15日告示、22日投票の市議選(定数22)で、福田明、鈴木やす子の両現職の議席確保をめざす日本共産党は、3月1日、大門実紀史参院議員を迎え、市政報告会を開き、約170人が参加しました。

乳幼児医療費の無料化を実現し、市長が住宅リフォーラム助成制度の実施を約束したことなどを報告。新市立病院の建設を実現し、市民のいのちとくらしを守るために全力をあげたいと訴えました。

「ゆきづまった自公政治のもとで、市民の立場でモノをいう議員が求められています。」と切り出した大門参院議員は、後期高齢者医療制度や消費税増税などの悪政にきつぱり対決するとともに、国会議員、県議と連携して市民の要求実現に全力をあげる日本共産党の地方議員のかけがえのない役割を強調、「二人をぜひとも押し上げていただきたい」と必勝をよびかけました。

参加者からは「会場いっぱい参加者で励まされた」「市政・国政の話がよくわかった」「こうした報告会を今後も開いてほしい。ぜひ議席をまもりぬいて」など、たくさんの方が寄せられました。



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週日曜日発行

市議団  
ニュース

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
福田明  
43-0468  
市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

2月26日、市議会議員全員協議会が開かれ、市立総合病院の人事問題等で市長および病院側から報告がありました。

それによると、桜井淳一院長と宮本敬長副院長から体調不良により辞表が提出され、それを受理すると同時に、新院長・副院長を新たに招へいし、新体制を発表するとしています。また、年度末を迎えて医師の異動があるが「一人の患者も他

# 市立病院トップが交代

市議会の  
全協で報告

の病院への紹介状を書かなくとも継続して受診できる体制は確立できる」と影響がないことが強調されました。

鈴木やす子市議は、「病院トップの医師の突然の辞意表明で患者・職員の動揺も少なくない。新たに招へいされる医師のポストや診療体制などを早急に公表し、患者や職員そして市民に不安を与えないよう、また極力混乱のないように」と対応を求めました。

福田明市議は「体調不良で院長・副院長が辞めるのは残念ではあるが、この局面で大切なのは、この事態を新病院建設にむけて、新体制でのぞむ第一歩としてとらえることである。その立場でも病院もがんばってほしい」と発言しました。



# 副市長就任式



3月2日、市議会本会議場において、議会議員、市職員の参加で副市長の就任式がおこなわれました。志賀秀之市議会議長と、市職員を代表して白橋茂市長公室長から歓迎の挨拶がありました。

石田奈緒子副市長は、「北茨城市は県職員としては関わりを持つことが少なかつたが、自然環境の豊かな地で仕事ができることは大変嬉しいこと。潜在力の高い地域と思うので、活かしながら一生懸命はたきたい」と述べました。